

Berkeley, 1972

- 18)井合進, 松永康男, 亀岡知弘: Strain Space Plasticity Model for Cyclic Mobility, 港湾技術研究所報告 第29巻 第4号, pp.27~56, 1990
- 19)Susumu IAI, Koji ICHII, Hanglong LIU and Toshikazu MORITA: Effective stress analyses of port structures, Special Issue of Soils and Foundations, Japanese Geotechnical Society, pp.97~114, 1998
- 20)ITASCA: FLAC - Fast Lagrangian Analysis of Continua, User's Manual, Itasca Consulting Group, Inc., Minneapolis, Minnesota, 1995
- 21)Cundall, P.A.: A computer model for simulating progressive, large scale movement in blocky rock system, Symp. ISRM, Nancy, France, Proc., Vol.2, pp.129~136, 1971
- 22)Kanatani, M., Kawai, T. and Tochigi, H.: Prediction method on deformation behavior of caisson-type seawalls covered with armored embankment on man-made islands during earthquakes, Soils and Foundations, Japanese Geotechnical Society, Vol.41-6, 2001
- 23)高橋千明, 蔡飛, 鶴飼恵三: 有限要素法による堤防の液状化時安全性評価法の提案, 第40回地盤工学研究発表会, 2005
- 24)井合進: Similitude for shaking table tests on soil-structure-fluid model in 1g gravitational field, 港湾技術研究所報告 第27巻 第3号, pp.3~24, 1988
- 25)菅野高弘: 「港湾・都市機能の耐震性に関する日米シンポジウム」~十勝港における実物大実験に関して~, 震災予防, No.190, pp3~5, 2003
- 26)小堤治, 塩崎禎郎, 一井康二, 井合進, 森玄: 二次元有効応力解析法の解析精度向上に関する検討, 第29回海洋開発シンポジウム, 2004
- 27)井合進, 一井康二, 森田年一: 兵庫県南部地震による港湾施設の被害考察(その7) ケーソン式岸壁の有効応力解析, 港湾技術研究所資料 No. 813, 1995
- 28)Ishihara, K., Yasuda, S. and Nagase, H.: Soil characteristics and ground damage, Special Issue of Soils and Foundations, Japanese Geotechnical Society, pp.109~118, 1996
- 29)森田年一, 井合進, Hanlong Liu, 一井康二, 佐藤幸博: 液状化による構造物被害予測プログラム FLIP において必要な各種パラメータの簡易設定法", 港湾技術研究所資料, No.869, 1997
- 30)沿岸開発技術センター: 埋立地の液状化対策ハンドブック(改訂版), 1997
- 31)例えば, FLIP 研究会: 六甲アイランド RF3 岸壁の被災断面による FLIP の各種パラメータの感度解析の概要と感度解析結果のまとめ, 1999
- 32)FLIP 研究会: FLIP 使用法講習会資料, 2004
- 33)一井康二: FEM の設計での利用と方向性, 土と基礎, Vol.53 No.8 Ser.No.571, pp.10~12, 2005
- 34)一井康二, 高橋宏直, 中本隆, 赤倉康寛: 地震時における重力式岸壁の許容被災変形量の評価, 第10回日本地震工学シンポジウム, K-4, 1998
- 35)Koji Ichii, Susumu Iai, Yukihiro Sato and Hanlong Liu: Seismic performance evaluation charts for gravity type quay walls, Structural Eng./Earthquake Eng., JSCE, Vol.19, No.1, 21s-31s, 2002
- 36)春日井康夫, 南兼一郎, 田中洋行: 地盤の側方流動による港湾施設の変形予測, 港湾技研資料 No.726, 1992
- 37)石井靖丸訳: チェボタリオフの土質工学(上巻), 技報堂, p.308, 1964
- 38)P.W. Rowe: Anchored sheet pile walls, Proc. of I.C.E., Vol.1 Pt.1., 1955
- 39)荒井秀夫, 横井聡之, 古部哲兵: 矢板壁の耐振性に関する研究 第2報, 第2回港湾技術研究所研究発表会講演概要, p.73, 1964
- 40)荒井秀夫, 横井聡之: 矢板壁の耐振性に関する研究第3報, 第3回港湾技術研究所研究発表会講演概要, p.100, 1965
- 41)沢田源平: 斜面をもった矢板根入れ部の受働土圧計算法, 港湾技研資料 No.9, 1964
- 42)長尾毅, 岩田直樹, 藤村公宜, 森下倫明, 佐藤秀政, 尾崎竜三: レベル1地震動に対する重力式および矢板式岸壁の耐震性能照査用震度の設定手法, 国土技術政策総合研究所資料 No.310, 2006
- 43)長尾毅, 尾崎竜三: 控え直杭式矢板岸壁のレベル1地震動に対する性能規定化に関する研究, 土木学会地震工学論文集, 2005
- 44)石井靖丸訳: チェボタリオフの土質工学(下巻), 技報堂, p.192, 1964
- 45)鈴木雅次: 港工学, 風間書房, p.474, 1955

- 46) P. W. Rowe: A theoretical and experimental analysis of sheet-pile walls, Proc. of I.C.E., Vol.4 Pt.1., 1955
- 47) 石黒健, 白石基雄, 海輪博之: 鋼矢板工法 (上), 山海堂, p.95, 1982
- 48) 高橋邦夫, 菊池喜昭, 石黒健: タイロッド式矢板壁の力学挙動の解析, 土木学会構造工学論文集 Vol.42A, p.1195, 1996
- 49) 高橋邦夫, 菊池喜昭, 朝木祐次: タイロッド式矢板壁の力学挙動の解析, 港湾技研資料 No.756, 1993
- 50) 高橋邦夫, 石黒健: 横荷重を受ける杭と矢板の縦梁解法, 山海堂, pp.177~183, 1992
- 51) Terzaghi: Evaluation of coefficients of subgrade Reaction, Geotechnique, Vol.5, pp.297~326, 1955
- 52) Tschbotarioff: Large scale earth pressure tests with model flexible bulkheads, Princeton Univ., 1949
- 53) テルツァギイ・ペック (星埜和ら訳): 土質力学応用編, 丸善, p.192, 1970
- 54) 久保浩一, 三枝富士男, 鈴木敦己: 垂直控え杭の横抵抗について, 港湾技術研究所報告 Vol.4 No.2, 1965
- 55) 全国防災協会: 災害復旧工事の設計要領, 2005
- 56) 日本道路協会: 道路土工仮設構造物工指針, pp.107~109, 1999
- 57) 赤塚雄三, 浅岡邦一: 高張力タイロッドの実験的研究, 港湾技術研究所報告 Vol.7 No.8, pp.135~167, 1968
- 58) 長尾毅, 柴崎隆一, 尾崎竜三: 経済損失を考慮した期待総費用最小化のための岸壁の常時のレベル1信頼性設計法, 構造工学論文集 Vol.51A, pp.389-400, 2005
- 58-1) 長尾毅, 菊池喜昭, 宮田正史: 矢板式係船岸の永続状態に関するレベル1信頼性設計法, 国総研資料 No.480, 2008
- 59) 尾崎竜三, 長尾毅: 控え組杭の設置位置をパラメータとした矢板式岸壁の地震時挙動解析, 第60回土木学会年次学術講演会, 2005
- 60) 片山猛雄, 中野拓治, 蓮見隆, 山口孝市: 1968年十勝沖地震などの被災例による現行設計法の検討, 港湾技研資料 No.93, pp.89~98, p.136, 1969
- 61) 運輸省港湾局, 運輸省第一港湾建設局, 運輸省港湾技術研究所: 新潟地震港湾被害報告書 第1部, p.101, 1964
- 62) 三橋郁雄: 有限要素法による水平方向地盤反力係数の推定(2次元K値), 港湾技研資料 No.219, 1975
- 63) 小堤治, 塩崎禎郎, 一井康二, 井合進, 森玄: 二次元有効応力解析法の解析精度向上に関する検討, 海洋開発論文集 第20巻, pp.443~448, 2004
- 64) 井合進, 龍田昌毅, 小堤治, 溜幸生, 山本裕司, 森浩章: 地盤の初期応力条件が矢板式岸壁の地震時挙動に与える影響の解析的検討, 第26回地震工学研究発表会, pp.809~812, 2001
- 65) 岡由剛, 三輪滋, 石倉克真, 平岡慎司, 松田英一, 吉田晃: 鋼矢板岸壁の被災時例による有効応力解析における初期応力状態のモデル化手法の検証, 第26回地震工学研究発表会, pp.813~816, 2001
- 66) 三輪滋, 小堤治, 池田隆明, 岡由剛, 井合進: 初期応力状態を考慮した有効応力解析による鋼矢板岸壁の地震被害の評価, 構造工学論文集 Vol.49A, pp.369~380, 2003
- 67) 塩崎禎郎, 菅野高弘, 小濱英司: 矢板式岸壁の耐震性に関する実験および解析, 海洋開発論文集 第20巻, pp.131~136, 2004
- 68) 日本港湾協会: 鋼矢板施工指針, 1969
- 68-1) 築地健太朗, 田川辰也, 長尾毅: レベル1地震動に対する自立矢板式および二重矢板式係船岸の耐震性能照査用震度の設定手法, 国総研資料 No.454, 2008
- 69) 石黒健, 白石基雄, 海輪博之: 鋼矢板工法 (上), 山海堂, pp.297~328, 1982
- 70) 大島実, 杉山道彦: 斜控グイ式矢板壁の設計法について, 土と基礎 Vol.13 No.3, pp.11~18, 1965
- 71) 石綿知治, 石黒健, 樋口靖明: 斜控杭式矢板壁とその挙動測定, 富士製鉄技報 Vol.13 No.4, pp.73~87, 1964
- 72) Sawaguchi, M.: Lateral Behavior of a Double Sheet Pile Wall Structure, Soils and Foundations, Vol.14 No.1, pp.45~59, 1974
- 73) 大堀晃一, 荘司喜博, 高橋邦夫, 上田寛, 原道秀, 川井豊, 塩田啓介: 二重矢板式構造物の力学特性に関する研究, 港湾技術研究所報告 Vol.23 No.1, pp.103~151, 1984
- 74) 海岸保全施設技術委員会: 海岸保全施設の技術上の基準・同解説, 日本港湾協会, 2004
- 75) 日本道路協会: 道路土工 仮設構造物工指針, pp.76~87, 1999
- 76) G. P. Tschbotarioff, F. R. Ward: Measurements with Wicgmann Inclinator on Five Sheet Pile Bulkheads,

4th Intern. Conf. Soil Mech. and Foundation Eng., Vol.2, 1957

- 77) Edited by G. A. Leonards: Foundation Engineering, Mc Graw Hill Book Co., pp.514, 1962
- 78) 高橋邦男, 野田節男, 神田勝巳, 三浦聡, 水谷太作, 寺崎滋樹: 鋼矢板セル模型の水平載荷実験—その1 静的挙動, 港湾技研資料 No.638, 1989
- 79) 野田節男, 高橋邦男, 神田勝巳, 寺崎滋樹, 三浦聡, 水谷太作: 鋼矢板セル模型の水平載荷実験—その2 動的挙動, 港湾技研資料 No.639, 1989
- 80) 北島昭一, 野田節男, 中山種清: 根入れ鋼板セルの静的挙動, 港湾技研資料 No.375, 1981
- 81) 野田節男, 北沢壯介, 飯田毅, 森信夫, 田淵博: 根入れ鋼板セルの耐震性に関する実験的研究, 港湾技術研究所報告 Vol.21 No.2, 1982
- 81-1) 柴田大介, 長尾毅: レベル1地震動に対する根入れセル式岸壁の耐震性能照査用震度の設定方法, 国総研資料 No.562, 2010
- 82) 横山幸満: 鋼杭の設計と施工, 山海堂, pp.95~96, 1963
- 83) 吉田巖, 吉中竜之進: 明石層及び神戸層の工学的性質について, 土木技術研究所報告 Vol.129, 1966
- 84) 吉田巖, 足立義雄: ケーソン基礎の静的水平抵抗に関する実験的研究, 土木技術研究所報告 Vol.139, pp.24~25, 1970
- 85) 長尾毅, 北村卓也: セル式岸壁の最適断面設定方法に関する研究, 海洋開発論文集 第20巻, pp.203~208, 2004
- 86) 住谷圭一, 長尾毅: セル式岸壁の根入れが耐震性能に与える影響に関する研究, 国土技術政策総合研究所資料 No.352, 2006
- 87) 野田節男, 北沢壯介, 飯田毅, 森信夫, 田淵博: 根入れ鋼板セルの耐震性に関する実験的研究, 港湾技術研究所報告 Vol.21 No.2, pp.147, 1982
- 88) 菅野高広, 北村卓也, 森田年一, 由井洋三: 鋼板セルの地震時挙動に関する研究, 第10回日本地震工学シンポジウム論文集, pp.1867~1872, 1998
- 89) 長尾毅, 北村卓也: セル式岸壁のレベル1信頼性設計法, 海洋開発論文集 第21巻, pp.755~760, 2005
- 90) 才村幸生, 森本精洋, 高瀬幸紀: 根入れ鋼板セル中詰土圧の現場計測結果, 土木学会第36回年次学術講演会講演概要 第3部, pp.562~563, 1981
- 91) 伊藤義博, 飯村修, 後藤雅行, 城江利彦, 飯田毅: 根入れ鋼板セルの施工について, 住友金属, Vol.34, No.2, pp.93~105, 1982
- 92) 運輸省港湾技術研究所, 運輸省第三港湾建設局, 川崎製鉄 K.K.: 鋼板セル試験報告書, 1966
- 93) 時川和夫: 直立消波岸壁の反射率に関する実験的研究(第1報), 第21回海岸工学講演会論文集, pp.409~415, 1974
- 94) 谷本勝利, 原中祐人, 高橋重雄, 小松和彦, 轟正彦, 大里睦男: 各種ケーソン式混成堤の反射・越波及び波力特性に関する模型実験, 港湾技研資料 No.246, p.38, 1976
- 95) 合田良実, 岸良安治: 不規則波による低天端護岸の越波特性実験, 港湾技研資料 No.242, p.28, 1976